

# 共同生活援助 悠楽ホーム 福祉作業所 WORKLE ニュースレタ

Vol.12

2025年3月号

編集：U

代表からみなさまへ

代表の  
たかぎです

## 出会いは、ひとと場所とタイミング

弊社の法人本拠地である前沢の小寺ビルは、昭和52年（1977年）12月19日に建てられました。築48年の歴史ある建物です。建物内の「悠楽ホーム前沢」は2021年12月1日に開設して4年目を迎え、「WORKLE」は2024年3月1日に開設から1周年を迎えました。

私自身は、訪問鍼灸マッサージをしながら「悠楽ホーム」の1棟目（下里）を運営しており、当時は2棟目を開設したいと考えながらも、なかなか適した物件が見つからず悩んでいました。そんな折、訪問鍼灸マッサージの依頼を通じて、小寺さんと出会いました。ある日、小寺さんはオーナーとして「空室が埋まらない」という悩みを話してくださいました。当初、グループホームは「戸建て」で開設することしか考えていませんでしたが、この小寺ビルを活かせば、お互いの課題を解決できるのではないかと思ひ立ち、行政や関係機関に相談して回りました。

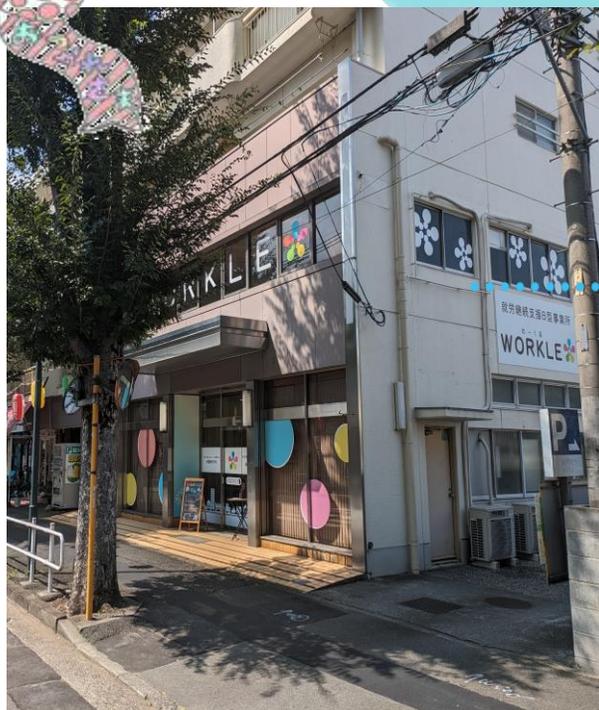
しかし、大きな壁がありました。・ビル全体に自動火災報知器を設置する必要があり、法人で数百万円を負担。昔ながらのバランス釜の入浴設備を、全自動のガス給湯器に変更。狭い一室の押し入れを解体し、床面積を広げることで悠楽ホームの開設基準を満たす。このように、時間も費用もかけながら、開設へと向かいました。

小寺さんへの訪問鍼灸の際には、利用者さんの入居が進むたびにお話をし、小寺ビルが果たしている地域貢献への感謝をお伝えしました。小寺さんも喜んでくださっていました。

小寺ビルは、もともと農協さんの依頼で建設されたと聞いています。1977年当初、周辺にはまだビルはなく、道は土のまま、三輪自動車が走っていたそうです。

しかし、農協さんも2020年に滝山へ移転し、物件は空きビルに。巨大な金庫が残るこの物件にはなかなかテナントが決まらず、小寺さんの悩みと私のニーズが4年越しに再び交差しました。

こうして導かれるように、悠楽ホーム前沢、そしてWORKLEが誕生しました。今後もこの場所を大切にしながら、事業を発展させ、地域に貢献していきたいと思ひます。



悠楽  
ホーム

男性1室空きあり  
※詳細はお問合せください



WOR  
KLE

見学受付中  
利用者募集中



悠楽  
治療院

鍼灸師募集中  
※詳細はお問合せください

## お気軽にお問合せください！



グループホームに空き室があります。綺麗な一軒家。男性向けの共同生活型で、夜間はスタッフが常駐、食事は手作りで皆さんに喜ばれております。



1階は作業室、2階は食堂兼休憩室。利用曜日、利用時間の相談できます。手作りの昼食はお好きな日のみの注文可能です。



悠楽に興味をお持ちの鍼灸師さん、お話させてください。

## 悠楽治療院

担当：トシヒデ

～中国における中医学と中西結合医療の実践～

中国では、東洋医学のことを「中医学」と呼びます。現在の中国の病院では、西洋医学を中心に、中医学の中薬（漢方薬）や鍼灸を組み合わせた「中西結合」と呼ばれる医療体制が確立されています。

私自身も大学卒業前の1年間、中日友好病院で実習を経験しました。この病院は、日本のODA（政府開発援助）によって無償資金協力された病院であり、日本との深い関わりを持っています。中医学が医療の一環としてどのように活用されているのかを体験できたことは、非常に貴重な経験でした。

その中で特に印象的だったのが、変形性膝関節症によってO脚になった農家のお婆さんへの治療です。

～火鍼（かしん）の施術とその効果～

お婆さんは、関節の可動域が著しく制限され、ほとんど屈伸ができない状態でした。治療として施されたのは、「火鍼（かしん）」と呼ばれる特殊な鍼治療でした。火鍼は、鍼の先端を火で熱し、青く光るまで加熱した後、皮膚に素早くトントントン！と刺す技術です。この施術では、皮膚が焼ける

「ジュッ！」という音がするため、初めて見た時は驚きました。しかし、百戦錬磨のお婆さんは痛みや熱さを訴えることなく、「オホホ」と笑顔を見せながら治療を受けていました。施術後、関節の可動域を確認すると、驚くことに約10度の改善が見られました。このような即時的な変化を目の当たりにし、中医学の持つ独自の治療効果を実感しました。

しかし、私はもう少し優しい刺激で同様の効果を出せないかと考え、火鍼には今も手を出したことがありません。それでも、この技術を駆使する鍼灸師たちは現在も多くの患者さんを治療しています。中医学は、科学的なエビデンスが十分でない指摘されることもありますが、臨床では目を見張るような成果を上げることもあります。西洋医学と中医学が融合した「中西結合医療」の現場では、それぞれの強みを活かした医療が実践されています。今後も、こうした伝統的な技術と現代医学の知見を融合させながら、皆さまの健康を支えていければと思います



トシヒデを見かけたら  
「ひあそびはダメですよ！」  
とひとこと♪

## 株式会社 悠楽

〒203-0032 東京都東久留米市前沢4-9-6 小寺ビルF号室

☎ 042-420-9940(代表)

E-MAIL▶▶▶daihyou@39yuraku.com

U R L▶▶▶https://www.houmonhq.com



## 悠楽ホーム

担当：T

3月3日はひな祭り🍡

ちらし寿司やあられを食べました。

「ひな祭り」と言えば、雛人形を飾り、ちらし寿司やお吸い物食べて女の子の健やかな成長を願う伝統行事ですが、元は今とは少し違う行事だったそうです。

ひな祭りの起源は、季節の節目や変わり目に災難や厄から身を守り、よりよい幕開けを願うための節句が始まりとされているそうです🌸

ホームでは、今日はちらし寿司だねーと楽しみにされていた様子。

珍しいねー！  
美味しいね！  
と喜んで召し上がってられました😊



## わーくる WORKLE

担当：G

ワークル開設から1年が経ちました🍊

当初は広い作業室にわたしひとりでポツンとしていましたが、少しずつメンバーさんが増えていき、今では作業テーブルを増やすほどになりました🌟

働く時間や日数はみなさんバラバラですがご自身のペースでムリなく過ごせる場所になっていただけてるようで嬉しく思っています。

4月からはさらにメンバーさんも増えるので、これからどう変わっていくのかわたし自身も楽しみにしています😊



はたらき、



さらにはたらき...??



開設前日。

今のワークルを想像できませんでした

